

平成31年度

江差町社会福祉協議会事業計画 追加事項

平成31年度第5回理事会（平成31年3月20日開催）の協議により、次の事項について計画「14. 社協の基盤整備」（11ページ～12ページ）に重要事項として追加する。

14-1 社協の新たな地域福祉活動推進の取り組みについて

◎ 平成31年9月を目途に、平成32年度に向けた地域の福祉・生活課題に向き合う事業実施について理事会の決議を経て江差町と協議を進めてまいります。

地域の福祉・生活課題は、事業計画前文（1ページ11行～13行）に『人口流出や少子高齢化が急速に進む当地域では、家族規模の縮小や一人ひとりの生活の考え方・あり方が多様化し、地域とのつながりも希薄になり、地域社会の在り方も大きく変わり様々な福祉・生活課題も山積しています』と記載しています。

この生活・福祉課題としては、地域からの孤立、引きこもり（8050問題等）、ごみ屋敷、経済的困窮、ネット環境（パソコン、スマホ等）充実とそれに伴ういじめ、子どもの孤食や親の不在時間の居場所、小売り商店の減少に伴う買い物弱者の増加、鉄道の廃止・バス路線の減少に伴う移動弱者の増加等々数多くあります。

本会が全ての課題に向き合えるという事ではありませんが、喫緊の課題である経営安定化や体制等について検討するとともに、福祉・生活課題について精査し、当地域の地域福祉推進の中核たる団体として真摯に向き合うため、平成32年度の事業実施に向けた準備を進めてまいります。

※ 8050問題とは、ひきこもりの長期化、高齢化から引き起こされる社会問題。主に50代前後のひきこもりの子どもを80代前後の親が養っている状態を指し、経済難からくる生活の困窮や当事者の社会的孤立、病気や介護といった問題によって親子共倒れになるリスクが指摘されている。

※ ごみ屋敷とは、ごみ屋敷が出来るまでには様々なケースが考えられるが、多くはゴミがあふれ、害虫やネズミによる不衛生な環境や悪臭が近隣に漂う、近隣とのトラブルなどの問題が発生する。

※ 孤食と個食の違いは、孤食が家族と団らんすることなく、たったひとりで食べる食事スタイルを指し、個食は、家族がそれぞれ好みのものを食べたり、バラバラに食べたりするスタイルのことを指す。

※ 移動弱者とは、自動車中心の社会において、年少者、要介護者、一部の高齢者や障害者など、自分で運転することができず、自家用の交通手段がないため公共交通機関に頼らざるを得ない人。とくに公共交通機関が整備されていないため、買い物など日常的な移動にも不自由を強いられている人をさす。